

平成23年5月19日
総務委員会資料(I)

東日本大震災への対応状況について

知 事 直 轄

東日本大震災に係る被害状況等

1 平成23年東北地方太平洋沖地震の概要

発生日時	平成23年3月11日	14時46分頃
震央地名	三陸沖	
地震の深さ	24km	
地震の規模	マグニチュード9.0	
各地の震度	震度7	宮城県栗原市
	震度6強	宮城県登米市、福島県白河市、茨城県日立市ほか
県内の震度	震度2	真庭市
	震度1	岡山市東区、岡山市南区、倉敷市、赤磐市
津波の情報	岩手県宮古	最大波 8.5m以上
	岩手県大船渡	最大波 8.0m以上
	宮城県釜石	最大波 4.1m以上
	福島県相馬市	最大波 7.3m以上
県内の津波	玉野市宇野	最大波 0.1m以上

2 人的被害の状況（5月16日現在 未確認情報を含む。）

死者	15,069人
行方不明	9,104人

3 建物被害の状況（5月16日現在 未確認情報を含む。）

全壊	90,151戸
半壊	36,647戸

4 避難状況（5月16日現在）

115,964人

東日本大震災に係るこれまでの本県の主な支援状況

平成23年5月16日現在

1 岡山県消防防災ヘリ「きび」の派遣（消防保安課）

- 3月12日 山形空港等を拠点に、宮城県内（石巻市、塩釜市、気仙沼市、桂島、
 〽 寒風沢島、女川町、牡鹿半島西側等）において、人命救助4件（15名）、
 3月31日 救急搬送12件（30名）、人員搬送5件（14名）、捜索活動5件及び物資輸
 送5件を実施

【派遣人員】累計28名（第1陣～第5陣）

2 緊急消防援助隊の派遣（消防保安課）

- 3月12日 宮城県に派遣し、宮城県総合運動公園体育館を拠点に、宮城県内（宮
 〽 城郡七ヶ浜町、多賀城市、塩釜市等）において、捜索・救助活動、道路
 3月21日 障害物除去活動、コンビナート火災残火処理活動、患者搬送及び物資搬
 送等を実施

【派遣人員】累計303名（第1陣～第3陣）

3 県警察の活動（警備課）

地震発生直後から広域緊急援助隊、管区機動隊、機動隊、地域警察部隊、航空隊を福
 島県、宮城県、岩手県に派遣し、交通規制、行方不明者捜索及び防犯活動等を実施中。

	派遣部隊	派遣先	派遣期間	活動内容
1	広緊隊（警備部隊）	福島県	3月11日～16日	原発周辺交通規制活動
2	広緊隊（交通部隊）	福島県	3月11日～18日	原発周辺交通規制活動
			3月22日～4月5日	
			4月21日～4月29日	交通規制活動
3	広緊隊（刑事部隊）	宮城県	3月13日～27日	検視、遺族対策活動
			4月19日～5月5日	
4	管区機動隊	岩手県	3月16日～22日	行方不明者捜索活動
		宮城県	3月29日～4月8日	
		福島県	5月2日～5月16日	原発周辺交通規制活動
5	機動隊	岩手県	3月24日～31日	行方不明者捜索活動
6	地域警察部隊	福島県	4月5日～5月21日	パトカーによる防犯活動
7	航空隊（わしゅう）	福島県	4月10日～14日	行方不明者捜索活動
8	第二機動隊	宮城県	5月6日～30日	警戒活動

【5月12日までの派遣人員】累計426名

4 DMAT等の派遣（医療推進課）

- 3月11日 岡山県赤十字病院1チームを福島県に派遣し、済生会川俣病院で活動
 3月12日 川崎医科大学附属病院、津山中央病院、岡山済生会総合病院、倉敷中央
 病院の4チームを岩手県に派遣し、いわて花巻空港SCUにおいて活動

【派遣人員】累計27名

- 3月19日 日本赤十字社岡山県支部が、赤十字飛行隊岡山支隊（単発プロペラ機1
 3月24日 機、2名）に要請し、医薬品、衛生用品、防災ヘルメット等をいわて花巻
 空港に搬送

5 保健師の派遣（保健福祉課）

派遣期間：3月18日（金）から6月28日（火）まで（予定）

派遣先：岩手県大船渡保健所管内ほか

構成：保健師、事務職等

【5月13日までの派遣人員】累計78名（第1陣～第15陣）

6 心のケアチームの派遣（健康推進課）

派遣期間：3月16日（水）から5月2日（月）まで

※ 現在、医師を派遣し現地ニーズを確認中であり、今後月1回2～3日程度医師を派遣し、継続的にフォローする予定

活動場所：宮城県南三陸町（3月19日（土）に登米市から移動）

構成：精神科医師、精神保健福祉士、看護師等

【派遣人員】累計45名（第1陣～第8陣）

7 医療救護班の派遣（医療推進課）

派遣期間：3月24日（木）から4月30日（土）まで

※1班を3泊4日で派遣（順次交代）

派遣場所：岩手県遠野市を活動拠点とし、大船渡地区公民館等の避難者の診療を担当

構成：災害拠点病院等の医師、看護師、業務調整員による5～6名で編成

【派遣人員】累計102名（第1陣～第18陣）

8 介護職員等の派遣について（長寿社会課）

派遣期間：5月1日（日）から6月5日（日）まで（予定）

※1班を7泊8日で派遣（順次交代）

派遣場所：老人保健施設ケアプラザおおつち（岩手県上閉伊郡大槌町）及び老人保健施設松原苑（岩手県陸前高田市）

構成：介護職員等による2～5名を1班とし派遣

【5月16日までの派遣人員】累計8名（第1陣～第3陣）

9 職員支援隊の派遣（人事課）

(1) 福島県への派遣

3月28日 事務職等を派遣。避難所の運営支援、被災者への本県での受入情報～（現在）の提供を実施中。公用車・アイミーブ（6台）の搬送も併せて実施。

(2) 宮城県への派遣

4月1日 事務職等を派遣。災害対策本部において業務支援を実施中。～（現在）

5月8日 事務職等を派遣。名取市の罹災証明事務支援を実施中。～（現在）

【5月16日までの派遣人員】累計66名（第1陣～第8陣）

10 B級ご当地グルメ炊き出し支援隊の派遣について（観光課）

4月4日 ご当地グルメ炊き出し支援隊として、ひるぜん焼きそば好いどん会及び美咲町たまごがけ5班を福島県に派遣。（※県事務職員7名と併せて派遣）

【派遣人員】累計21名

11 環境モニタリングチームの派遣（環境企画課）

4月6日 文部科学省からの要請を受け、福島県に派遣
 構成：化学職等
 派遣先：福島県原子力災害現地対策本部
 期間：当面5月30日まで交代での派遣予定
 活動内容：環境放射線モニタリング等

【5月15日までの派遣人員】累計14名（第1陣～第9陣）

12 建築職員の派遣（建築指導課・建築営繕課）

4月20日 福島県知事からの要請を受け、福島県に派遣
 構成：建築職
 派遣先：福島県庁
 期間：4月20日（水）から6月30日（木）まで
 ※1人当たりの派遣期間は概ね3週間とし、順次交代で派遣
 活動内容：仮設住宅建設の工事監理等

【5月13日までの派遣人員】累計2名（第1陣・第2陣）

13 漁港関係職員の派遣（水産課）

5月9日 福島県知事からの要請を受け、福島県へ派遣
 構成：土木職
 派遣先：福島県相馬市（相馬港湾建設事務所）
 期間：5月9日（月）～7月29日（金）
 ※1ヶ月交代で3名派遣予定
 活動内容：漁港関係施設の復旧業務

【5月9日までの派遣人員】累計1名

14 緊急物資の輸送（危機管理課・国際課・医薬安全課）

これまでの輸送は次のとおり

発送日	発送先	合計使用車両	主な救援物資	備考（物資受入元）
3月13日 ～ 5月9日	宮城県 福島県 岩手県 （3県）	小型トラック4台 大型トラック18台 （自衛隊空輸）	毛布、貯水タンク、おむつ （大人用、子供用）、アルフ ァ米、生理用品、飲料水、 マスク、トイレットペーパ ー、一般用医薬品、黒板、 ふとん ほか	県・市町村 （県民、企業、県 薬剤師会等からの 寄付を含む）

15 義援金、救援物資等

(1) 専用ダイヤル（義援金、救援物資及びボランティア）

3月14日設置、4月14日廃止。

(2) 義援金の受付（保健福祉課）

3月14日から当分の間受付

受付時間 平日 8:30～17:15

3月18日 岡山駅周辺で募金活動を実施

3月25日 インターネットバンキングの利用による寄附の受付を開始した。

4月11日 当分の間受付を行うこととした。

義援金の額 約17億9,300万円（5月16日現在）

(3) 救援物資の受付（県民生活交通課）

3月14日 受付を開始。3月31日正午をもって救援物資の受付を休止。

3月31日までの受付延べ人数 7,062名

(4) 救援物資仕分け等ボランティアの募集（県民生活交通課）

・募集期間：3月17日～18日

・活動期間：3月18日～21日（延べ146名参加）

(5) 復興支援ボランティアの募集及び派遣（県民生活交通課）

県社協、市町村社協及び県共同募金会と共同で実施

・募集期間：4月26日～6月8日 日程が決定している4回ごとに募集

・派遣期間（日程確定分）

第1回：5月9日（月）～13日（金） 受付終了

第2回：5月23日（月）～27日（金） 受付終了

第3回：6月6日（月）～10日（金）

第4回：6月20日（月）～24日（金）

・募集人数：各日程20人

・申込方法：各募集期間内に、市町村社会福祉協議会に直接来所による申込み

(6) 災害見舞金（保健福祉課）

被災県に対し、次のとおり災害見舞金をお届けした。

岩手県：500万円、宮城県：500万円、福島県：500万円、青森県：50万円、
茨城県：50万円、千葉県：50万円、栃木県：50万円

16 緊急災害用医薬品の輸送（医薬安全課）

3月24日 岩手県からの要請に基づき被災地に派遣される医療救護班が使用する医療用医薬品1,500人分を輸送した。

3月30日 岡山県薬剤師会、岡山県医薬品登録販売者協会及び岡山県医薬品配置協議会より提供される一般用医薬品等を岩手県に輸送した。

17 公用車の無償貸与（用度課）

次のとおり公用車5台を宮城県南三陸町に無償貸与した。

(1) 貸与車両

軽自動車 3台（貨物2台、乗用1台）

小型貨物車 2台

(2) 貸与期間

6ヶ月（平成23年4月15日から平成23年10月14日まで）

18 住宅支援について（住宅課）

(1) 住宅支援相談窓口の開設について

・相談窓口場所 県庁本庁舎6階 都市局会議室

・専用電話番号 086-226-7917

・設置日 平成23年3月29日（火）

・相談受付時間 9:00～17:00（閉庁日を除く）

(2) 県営住宅への一時入居について（住宅課）

・提供戸数・入居期間：100戸、6ヶ月（延長可能）

・家賃等：家賃全額免除、敷金・連帯保証人不要

・入居状況：5月16日までに23戸の入居を決定した。

（5月16日現在4戸8人が入居中）

19 生活支援について（保健福祉課）

(1) 日常生活用品の提供

寝具及び鍋、茶碗等の調理用具等 5 人分をセットにして支給するとともに、希望により、テレビ、冷蔵庫、洗濯機等を無償貸与

(2) 生活一時金

県営住宅等で、当分の間、避難生活を送られる世帯に対して 10 万円の一時金を支給（単身世帯は 5 万円）

20 岡山県内民間路線バス無料利用制度について（県民生活交通課）

社団法人岡山県バス協会に、県と市町村が協力して実施

・実施期間：平成23年 5 月 16 日～平成23年 10 月 31 日

・実施バス会社：

井笠バス、宇野バス、岡電バス、下電バス、中鉄バス、中鉄北部バス、備北バス、両備バス 計 8 社 ※ただし、高速バス及び定期観光バス等を除く。

・申請手続：県内各市町村の窓口において、交付申請し、『岡山県内民間路線バス無料利用証』の発行を受ける。

21 児童生徒の就学機会の確保等について（教育委員会・総務学事課）

3 月 15 日に、被災した児童生徒の公立学校への受け入れ等について、弾力的に取り扱うよう県立学校、市町村教育委員会等へ通知した。

3 月 17 日に、次のとおり県立学校、県立特別支援学校等へ通知した。

- ・被災地域の生徒の県立高等学校入学選抜等について弾力的に取り扱うとともに、入学選抜手数料及び入学金を徴収しない。
- ・被災地域の障害のある幼児児童生徒の特別支援学校への受入れについて弾力的に取り扱う。

県立学校での、共通して負担する経費等について補助することを決定した。

また、私立学校でも被災した生徒等を受け入れ、授業料等の保護者負担分を免除する方針の学校が出てきており、そうした私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に対し、減免分の全額を補助することを決定した。

22 県内中小企業者のための県制度融資の対応について（経営支援課）

東日本大震災による災害により事業活動に影響を受けている県内中小企業者を支援するため、県制度融資のうち「経済変動対策資金(融資枠 320 億円)」に係る災害条項の適用及び融資利率等の引き下げ、知事特認による融資対象者の拡大を行い、3 月 30 日から取扱いを開始した。

その後、部品・資材等の入手困難な製造業・建設業や宿泊キャンセルの影響を受けた旅館・ホテル業など、影響を受けている中小企業者の範囲が拡大していることから、追加措置として、新たにこのような中小企業者も融資が受けられるようにするとともに、融資利率の引下げ及び融資限度額の別枠化等を行い、5 月 2 日から取扱いを開始した。

(1) 取扱期間 平成 23 年 3 月 30 日（追加措置は 5 月 2 日）～平成 24 年 3 月 31 日

(2) 問い合わせ先

岡山県産業労働部経営支援課金融支援班

電話番号 086-226-7361

受付時間（土、日、祝日を除く。）8:30～17:15

23 中小企業者のための相談窓口の設置について（経営支援課）

3月22日から、東日本大震災により影響を受ける県内中小企業者を対象に、経営、金融、下請取引、技術等のあらゆる相談に対応する相談窓口を設置した。

(1) 相談窓口 2ヶ所

・岡山県産業労働部経営支援課経営革新班

電話番号 086-226-7354

・(財)岡山県産業振興財団経営支援部内 県中小企業支援センター

電話番号 086-286-9626

(2) 受付時間 (土、日、祝日を除く。) 8:30~17:15

24 東日本大震災被災企業復興支援ワンストップ窓口の設置について（企業立地推進課）

東日本大震災で被災された企業等の復興を支援するための補助制度を充実するとともにワンストップ窓口を設置した。

(1) 問い合わせ先

・産業労働部企業立地推進課 086-226-7374

・東京事務所企業誘致課 03-5212-9080

・大阪事務所企業誘致グループ 06-6261-3206

受付時間 8:30~17:15 (土、日、祝日を除く。)

(2) メニュー

・岡山県内の産業用地、オフィス、空き工場、民有地紹介

・工場再建へ各種補助制度等の拡充

など

25 放射線被ばくに対する電話相談窓口の設置（医療推進課、健康推進課）

(1) 電話番号 086-226-7918 (医療推進課)

086-226-7919 (健康推進課)

(2) 受付期間 8:30~17:00 (土・日・祝日を除く。)

※3月18日から当分の間実施

26 知事の被災地訪問・視察等

5月2日(月)石井知事が佐藤福島県知事を訪問し、お見舞い申し上げ、現状や要請等をお伺いした。

また、桜井南相馬市長を訪問するとともに、津波被災地や避難所の現状を視察した。

併せて、公設国際貢献大学校が南相馬市教育委員会と連携し実施する「南相馬こども支援キャンペーン」に賛同し、移動式黒板(30枚)を寄贈した。

27 ~がんばろう!東北~東日本大震災復興支援観光物産展の開催(観光課・政策推進課)

日時 5月21日(土)から22日(日)まで(予定)

場所 JR岡山駅前広場(東口)

主催 東日本大震災支援県民会議

内容 宮城県・岩手県・福島県3県の特産品の販売

同3県の観光パンフレット等によるPRと旅行商品の紹介

28 その他

(1) 懸垂幕等の掲出（危機管理課・県民生活交通課）

3月18日、東日本大震災で被災された方々への支援を呼びかけるため、県庁舎に懸垂幕を掲出。3月22日からは備前、備中、美作の各県民局においても、同じ内容の懸垂幕を掲出。また、4月11日からは県庁玄関前にパネルを設置。

5月21日からは、JR岡山駅前啓発塔においても懸垂幕を掲出（予定）。

(2) 支援米の提供について（教育委員会）

3月18日に、県立興陽高校の生産米（ヒノヒカリ：800kg）を東北大学医学部附属病院及び釜石市へ支援米として提供した。3月25日、更に500kgを提供した。

(3) 環境放射線等の観測について（環境企画課）

県では、環境保健センター（岡山市南区内尾）において、文部科学省の依頼を受け環境放射線等の測定を行っているが、3月23日から24日にかけて採取した降下物及び大気浮遊じん（空中を漂っている微少な塵を機械を使って集めたもの）から微量の放射性物質が検出されて以来、放射性ヨウ素131やセシウム134・137が検出される日も発生している。

しかし、いずれも検出された値はごく微量であり、人体等に影響はない。

また、人形峠（鏡野町上斎原）や環境保健センターで連続監視している環境放射線量にも変化はなく、通常の数値で推移している。

なお、監視データは毎日2回更新（土日祝は1回）したものが、県環境企画課ホームページで見ることができる。

（環境企画課ホームページ）

<http://www.pref.okayama.jp/kankyo/kanki/hosha/radiation.html>

（岡山県環境放射線等リアルタイム表示システム）

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=92659

(4) 三井造船(株)所有大型貨客船への物資の提供（危機管理課）

5月17日～31日までの2週間、宮城県石巻港において、東日本大震災の被災者に食事や入浴、休憩などのサービスを無償提供する三井造船株式会社の保有する大型貨客船（5月14日8時に玉野市を出発）に県民、企業の方からいただいた毛布やバスタオルなどの物資（約750箱）を県から提供し、被災者の支援に利用してもらうこととした。

これまでの各被災県別の主な支援状況

県名	主な被害状況(人) (5月16日現在) (警察庁調べ)	被災地に対する岡山県の主な支援状況 (5月16日現在)
岩手県	死者 4,436 行方不明 3,012 避難者 36,494	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/12 DMAT 4チームを派遣 ・ 3/16 中国管区機動隊岡山部隊を派遣 ・ 3/18 保健師等を派遣 3/22～第2陣、3/26～第3陣、3/30～第4陣、 4/3～第5陣、4/7～第6陣、4/11～第7陣、 4/15～第8陣、4/19～第9陣、4/23～第10陣、 4/27～第11陣、5/1～第12陣、5/5～第13陣、 5/9～第14陣、5/13～第15陣 ・ 3/24 医療救護班を派遣 第18陣(4月30日)まで派遣 ・ 3/24 県警察機動隊を派遣 ・ 5/1 介護職員等の派遣 5/9～第2陣、5/16～第3陣 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/15 災害見舞金500万円 ・ 3/18 貯水用タンク600個 ・ 3/19 赤十字飛行隊岡山支隊が医薬品等を搬送 ・ 3/22 赤十字飛行隊岡山支隊(第2次空輸)が防 災ヘルメット等を搬送 ・ 3/30 医薬品等、おむつ320箱等
宮城県	死者 9,003 行方不明 5,526 避難者 32,261	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/12 消防防災ヘリ「きび」を派遣 第5陣(3月31日)まで派遣 ・ 3/12 緊急消防援助隊を派遣 第3陣(3月21日)まで派遣 ・ 3/13 県警察広域緊急援助隊(刑事部隊)を派遣 3/20～第2陣、4/19～第3陣、4/26～第4陣 ・ 3/16 心のケアチームを派遣 第8陣(5月2日)まで派遣 ・ 3/29 中国管区機動隊岡山部隊を派遣 ・ 4/1 県職員支援隊を派遣 4/11～第2陣、4/15～第3陣、4/22～第4陣、 4/29～第5陣、5/6～第6陣、5/13～第7陣 ・ 5/6 第二機動隊を派遣 ・ 5/8 罹災証明事務担当職員を派遣 5/15～第2陣 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/13 毛布1,520枚 ・ 3/15 災害見舞金500万円 ・ 3/19 毛布約7,000枚、アルファ米約4,700食、飲料 水約3,100本等 ・ 3/22 アルファ米17,000食、生理用品100箱、マス ク100箱等 ・ 3/26 サンマの缶詰30箱、フレーク190箱等 ・ 3/31 乾電池用ボンベ1箱、おむつ200箱等 ・ 4/26 辞書 ・ 4/28 トイレトペーパー100箱、ゴミ袋189箱等 ・ 5/2 飲料水79箱、ゴミ袋72箱、ライト67箱等 ・ 5/14 三井造船(株)大型貨客船へ毛布279箱等

県名	主な被害状況(人) (5月16日現在) (警察庁調べ)	被災地に対する岡山県の主な支援状況 (5月16日現在)
福島県	死者 1,566 行方不明 562 避難者 24,010	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/11 DMAT 1 チームを派遣 ・ 3/11 県警察広域緊急援助隊(警備・交通部隊)を派遣 3/22～同(交通部隊)第2陣、3/28～第3陣、4/21～第4陣 ・ 3/28 県職員支援隊を派遣 4/4～第2陣、4/11～第3陣、4/18～第4陣 4/25～第5陣、5/2～第6陣、5/9～第7陣 5/16～第8陣 ・ 4/4 B級ご当地グルメ炊き出し支援隊を派遣 ・ 4/5 地域警察部隊を派遣 4/14～第2陣、4/21～第3陣、4/28～第4陣、5/5～第5陣、5/12～第5陣 ・ 4/6 環境モニタリングチームを派遣 4/13～第2陣、4/20～第3陣、4/27～第4陣、4/30～第5陣、5/5～第6陣、5/8～第7陣、5/12～第8陣、5/15～第9陣 ・ 4/7 保健師等を派遣 ・ 4/10 県警察航空隊「わしゅう」を派遣 ・ 4/20 建築職員の派遣 5/13～第2陣 ・ 5/9 港湾関係職員の派遣 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/15 災害見舞金500万円 ・ 3/16 貯水用タンク300個 ・ 3/19 簡易トイレ650個、屋外型テント108個 ・ 3/19 おむつ約20,000枚、簡易トイレ約700個等 ・ 3/23 トイレトッパー-337箱、おむつ80箱等 ・ 3/28 公用車・アイミーブ6台を搬送 ・ 4/4 おむつ365箱、生理用品58箱等 ・ 4/20 移動式黒板30枚 ・ 5/9 トイレトッパー-100箱、ふとん60箱等
その他 (茨城県等 16都道県)	死者 64 行方不明 4 避難者 23,199	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/15 青森県、茨城県へ災害見舞金各50万円 ・ 3/31 千葉県、栃木県へ災害見舞金各50万円
計	死者 15,069 行方不明 9,104 避難者 115,964	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の他 <p>義援金、救援物資等の受付、透析患者の受入(3/25～)、県営住宅への一時入居・相談窓口の開設、日常生活用品の提供、生活一時金の支給、児童生徒の就学機会の確保等を実施、放射線被曝に対する電話相談窓口の設置など</p>

- ・ 被災地への派遣人数：累計1,121人
- ・ 被災地への救援物資輸送量：大型トラック(11t)18台と小型トラック(4t)4台分

東日本大震災が及ぼす本県への影響や課題への対応

東日本大震災を受け、本県の防災対策の強化や震災が及ぼす県内産業への影響の把握、震災が及ぼす県内外の影響への対応や県が果たすべき役割などについて、検討を進める必要がある。

このため、知事を本部長とする東日本大震災総合対策本部会議を設置するとともに、その下に2つのプロジェクトチームを置き、それぞれの課題について部局横断的に検討を進める。

1 防災強化検討プロジェクトチームの設置

<検討事項の概要>

災害に強い県づくり、県民の安全・安心の確保を目標として、防災対策の強化を図るため、災害時要援護者をはじめとする県民の避難対策や公共施設の耐震化、津波や液状化への対策など、ソフト・ハード両面にわたる対策について検討する。

<PT構成課室>

危機管理課（幹事課）、政策推進課、財産活用課、航空企画推進課、国際課、保健福祉課、障害福祉課、長寿社会課、水産課、防災砂防課、港湾課、建築指導課、教育庁財務課、保健体育課、警備課、交通企画課

（4月20日 第1回会議の概要）

- ・本プロジェクトチーム会議設置の趣旨説明
- ・今後の検討内容

ソフト対策：現行避難対策を検証し、改善等を検討

ハード対策：公共施設等の耐震化、液状化対策等を検証し、改善等を検討

2 震災影響検討プロジェクトチームの設置

<検討事項の概要>

大震災の影響は、県内産業や県民生活にも様々な形で現れていることから、それらを適切に把握し、迅速な対応策を検討する。

また、今後、我が国全体の生産供給体制やサプライチェーンの見直しなどが進むと考えられることから、供給補完機能・バックアップ機能を担う拠点性の向上や、企業におけるリスク分散等の動きへの対応など、本県が果たすべき役割と施策の在り方などについても検討を行う。

<PT構成課室>

政策推進課（幹事課）、危機管理課、総務学事課、県民生活交通課、環境企画課、保健福祉課、産業企画課、企業立地推進課、産業振興課、経営支援課、観光課、緊急雇用対策室、農政企画課、監理課、教育庁総務課

（4月20日 第1回会議の概要）

- ・本プロジェクトチーム会議設置の趣旨説明
- ・被災企業や県内中小企業向け相談窓口の利用状況等の報告
- ・東北地方の物産を購入する機会の提供など、今後の被災地支援に向けた取組

岡山県地震・津波対策専門委員会の設置

1 委員会の役割

次の事項について専門的な見地から検討し、県への助言・提言を行う。

- (1) 東海地震、東南海地震及び南海地震の3地震が連動して発生した場合の地震、津波等による被害想定に関すること。
- (2) 岡山県の防災対策の検証に関すること。
- (3) 岡山県地域防災計画等の見直しに関すること。
- (4) その他必要と認める事項

2 構成メンバー

	氏名	所属・役職	専門
学識経験者	うら かわ ごう 浦 川 豪	兵庫県立大学防災教育センター 准教授	災害情報システム
	おお く ぼ けん じ 大 久 保 賢 治	岡山大学大学院環境学研究科 教授	環境水文学
	かわ た よし あき 河 田 恵 昭	関西大学社会安全学部 学部長	巨大災害・津波
	き むら れ お 木 村 玲 欧	兵庫県立大学環境人間学部 准教授	災害心理学
	こし やま けん じ 越 山 健 治	関西大学社会安全学部 准教授	都市災害
	み とく かず こ 三 徳 和 子	川崎医療福祉大学医療福祉学部 教授	災害時要援護者支援 (在宅・地域看護)
行政関係者	あか ざわ かず お 赤 沢 一 生	倉敷市 危機管理監	
	あずま りゆう じ 東 龍 治	岡山市 危機管理監	
	さ とう けん ろう 佐 藤 兼 郎	岡山県 危機管理監	

(五十音順、敬称略)

3 委員会の進め方

概ね2ヶ月に1回程度の頻度で会議を開催し、国の中央防災会議専門調査会の検討状況などの動向を踏まえながら、年内を目途に、新たな知見に基づく被害想定や防災対策についての提言等を行う。県は、その提言等を受けて、年度内での県地域防災計画の見直しを進める。